



**▲Tackle Guide**  
 竿はアオリ用のロング、ショートロッド、ライトゲームロッドと好みで選ぼう。道糸は細すぎるとシャクリ時に切れることがあるので最低でもPE1号以上を。餌木は3.5~4号が標準だが、大型狙いには4~4.5号も有効だ。



▲シャクリは間隔、強弱を付けて一定のペースで



▲この日は1キロ級止まりだったが3キロオーバーも狙える!

# 狙いは2~3キロの特大型の好期

●内房保田港発↓保田沖  
 本誌編集部 近藤加津哉 Kazuyuki Kondou

アオリイカは秋〜冬にかけての数釣りシーズンと、春〜夏にかけて大型シーズンがある。内房エリアでは3月に入ってから3キロクラスの特大型まで上がり乗っ込みシーズンに突入した模様。  
 そこで、今シーズンからシャクリのアオリイカ船をスタートさせた内房保田港の村井丸から様子を探ってきた。  
 「今年から始めたばかりだからまだ船頭も手探りの状態なんだけどね」と村井智博船長は言うが、すでに最大2.5キロを始め大型が多数上がっている。

餌木シャクリは縦の釣りで一定のペースでシャクリを繰り返して、シャクった瞬間にズッシリとした乗りの衝撃を味わえるのが魅力だ。  
 取材に伺ったのは4月1日。乗船したのは4人のアオリイカファン。3人は中オモリの正統シャクリスタイル、もう一人はスピニングタックルで重い餌木を使用したバーチカルなティップランで挑戦。  
**最初に1キロ級がきた**  
 6時前に出船すると、ゆっくり走って5分ほどのポイントで船は旋回する。狙うポイントには根回りや魚礁周りがメインで、反応を見てピンポイントで攻めていくことが多いという。  
 船長からは海面からの指示ダナが出る。  
 「20メートル」と言われたら、中オモリをこのタナに合わせる。ハリスは4メートルなので、餌木はタナ下3メートル前後を漂うイメージだ。この時期は浮いているイカが多く、魚探に反応が出る場合はかなり上の指示が出ることもあるそうだ。

**知得! Tips and Tricks**  
**オールド餌木は今でも活躍!**

アオリイカのシャクリ釣りが流行したのは今から20年以上前。このころは各メーカーから船アオリ用の餌木が多数発売されていた。筆者もそのころのものも多く残っている。この日2杯乗せた上野さんが持参した餌木もすべて年代物だったが、十分乗ることを証明してくれた。最新のものと併せて使ってみよう。

▲一番上は最新餌木、下2つは懐かしの名餌木

## アカイカに盛り上がる

アカイカの群れが入ってきたのかみんな触りはある、しかしなかなか乗せられないようだ。一人50グラムの重量にしてバーチカルなティップランで釣っていた春日部市の渋谷裕一さんは、  
 「めちゃくちゃ触ってきます。でも餌木が大きいのかアタリを出してもすぐに放しちゃうみたいですね」とお悩みの様子。しかしその直後にフッキング成功、上がってきたのは腕や腕がぶつくと胴長40センチ級のアカイカだった。いい日にはこれが一人数杯ずつ釣れるようで、これはこれでうれしい。まさに裏本命ともいえそう。  
 続いて竿を曲げたのはまた渋谷さんだった。今度はアオリイカですよ、と竿をしっかりと曲げて巻き上げるが、途中でバレーてしまいがツクシ。それでも気を取り直して直後にアカイカを1杯追加する。マルイカ船で釣れたら大騒ぎのサイズだ。渋谷さんはティップランでの鉄板カラーの紫系をメインに使っていた。  
 11時ごろになり保田寄りのポイントに移動。ここで竿を曲げたのは最初にアオリを乗せた上野さん。聞けば洲ノ崎沖でかなり長い間、シャクリをやってきたという。  
 「小さいよ」と言いながら上げたのは700グラム級だった。「このあたりはやっぱりオレンジとピンクによく乗るね」と上野さん。  
 すると直後に渋谷さんが、「乗った!」と叫ぶ。こちらが1キロには届かなかったが苦勞して釣り上げた本命だけ

▼バラシのあとに本命ゲット



開始から2時間ほど、小移動を繰り返すがたまに「チップがあつたよ」という程度で明確な乗りはない。天候はたまに小雨がパラつくような低い雲が立ち込め、水色は濁りが適度に入ってアオリイカにはよさそうな条件なのだが……。  
 最初の乗りがやってきたのは8時前。館山市の上野富次雄さんがショートロッドを曲げた。ギューンギューンと抵抗して上がってきたのは1キロ級。これでも十分の大きさだが、目下のところ狙っているのはこの2倍、3倍のサイズだ。  
 餌木は「何十年前の手作りのやつ」というオールド餌木でピンクとマール系の装飾が施してあった。シャクリは2~3秒に1回と早めのペースで、小さいシャクリをメインにたまに大きくシャクリたいという。  
 この1杯でさあスタートかと思われたがそのあとはまた沈黙が続く。  
 船長は船を金谷沖方面に向ける。潮通しがよく、沖から3キロオーバーのモンスター級が入ってくるポイントだ。



▲アカイカもううれしい

●船宿information  
 内房保田港  
**村井丸**  
 ☎0470-55-1121  
 (詳細は巻末の情報欄参照)

村井 智博船長

▶料金=アオリイカ乗合一人9500円(氷付き)  
 ▶備考=予約乗合、4時半集合。別船はライトタイ五目、ライト五目、アジへも

は大型も多数入っているというのでこれからが楽しみだ。定置網は本来なら秋によく見られる小型も入っているようで、今後は大中小交じりで釣れる可能性もある。  
 このエリアのアオリイカは今後、長いと7月末ごろまで楽しめる。ズッシリとした感触をぜひ味わってほしい。